

1 受審事業者

経営法人・設置主体（法人名等）：恵那市	
名称：城ヶ丘こども園	種別：保育所型認定こども園
代表者氏名：園長 春日井 善久	定員：160名
所在地：岐阜県恵那市大井町848-1	TEL：0573-25-2539
受審回数：11回	
評価年月日（評価認定書の記載日）：令和3年3月12日	
継続評価年月日（評価認定書の記載日）：令和4年3月29日	
継続評価年月日（評価認定書の記載日）：令和5年2月1日	

2 総 評

城ヶ丘こども園は、平成22年4月に学校法人荻須学園が恵那市から公の施設に係る指定管理者の指定を受け、定員160名の保育所型認定こども園として業務を開始した。今回の継続評価は第三者評価事業に係る自己評価を通じて、今後の取り組み課題として捉えた事項を中心に評価した。

◇特に評価の高い点

- ・年度当初に職員の希望等も尊重しながら、職務に必要な教育・研修に参加できるよう年間計画を策定すると共に「リモート研修」も取り入れ職員の参加機会を大幅に増やすなど、職員の資質の向上に積極的に取り組んでいる。
- ・年長児が大井太鼓振興会との交流や中山道のれんコンテストに参加するなど、地域のイベントにも積極的に参加し、社会体験の機会が得られるよう機会を設けている。園児の自由な活動や遊びを大切にしており、保育者自身も園児と交わりながら援助している。
- ・「心と体が健康で意欲的にたくましく生活できる子」～人とのつながりの中で～を実践記録の研究テーマとし、各クラスで実践と研究に取り組んでいる活動は、高く評価できる。
- ・コロナ禍、延長保育では子どもたちはそれぞれのクラスの部屋で保育を受け待機させるなど、感染防止対策にも率先して取り組んでいる。

◇改善を求められる点

- ・園は「災害（地震）時における避難場所」に指定されており、緊急時に備え、園として対処すべき基本について、例えば、園内の避難訓練の機会等を活用して具体的な対応ポイントを職員全員で確認するなど、園内勉強会の開催等を期待する。

3 第三者評価結果に対する事業所のコメント

コロナ禍での保育活動について、「その中でできることを模索したこと」と「その中だから感染拡大に気を付けてきたこと」をきちんととらえて高い評価をいただいたことに感謝いたします。自分たちの努力していることをきちんと認めていただいたことを全職員で共有し、今後に向けた励みとさせていただきます。

改善点として挙げていただいた「災害（地震）時における避難場所として園が指定されている」ことについて、私を含め職員の意識が低く、「いざっ！」という時の動きが見えていません。たとえ第1次避難場所に指定されていなくても、第2次3次避難が必要となった場合を想定し、早急に計画・準備の動きを始めていきたいと思えます。

今後ともご指導の方、よろしくお願いたします。

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

Ⅰ-3 事業計画の策定

	第三者評価結果
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。	
1-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a
<p>前回評価結果：a</p> <p>毎年度、策定した「園事業方針」を保護者会主催の会議で説明し、周知と理解を促している。また、毎月発行する保護者向け「園だより」でも、その都度必要事項を伝えている。</p>	
<p>施設の取り組み内容</p> <p>・保護者会総会資料で年間事業計画を掲載し、年度当初に保護者に周知を図る。さらに事業を行う前に保護者へ案内文を配付して、事業の具体的な活動について連絡する。実施後には、活動の様子を大型モニターを使ってスライドショーや動画などで紹介する。</p>	
<p>継続評価結果</p> <p>年度当初の保護者会総会で主に年間の子どもに係る行事を中心とした事業計画を提示し、周知を図っている。また、行事等が近づくと毎月発行する「園だより」で随時関係行事等の詳細について周知して保護者の理解、参加を促すなどきめ細かな取組をしている。</p>	

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

	第三者評価結果
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	
Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a
<p>前回評価結果：a</p> <p>就業規則に規定する職員の心身の健康と安全に係る事項を説明し、周知を図っている。また年次有給休暇の取得や各種福利厚生事業の利用および活用に取り組んでいる。</p>	
<p>施設の取り組み内容</p> <p>・今年度から、園長・副園長・特別支援コーディネーターの3名フリーの体制をとり、職員の声を3人のうちの誰かが受け取ったら3人で共有し、相談事や要望などにできるだけ丁寧に応えるようにしている。また、個人面談を実施し、心身の健康について、直接聞き取る場を個別に設けている。</p>	
<p>継続評価結果</p> <p>年度当初に就業規則に定める服務、年次休暇等を中心に全職員が再確認するなど周知している。また、12月には園長と職員の個別面談を実施し、職員の就労上の意向等を確認するとともに、面談結果は副園長と特別支援コーディネーターの三者で共有し、職員個々の実情に応じて三者で役割分担しながら対応するなど、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。</p>	

Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	
Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a
<p>前回評価結果：a</p> <p>研修は年間の事業計画の中で施設内外の「職員研修計画」で示し、年間を通じて取り組んでいる。計画の内容も時宜を得ている。</p>	
<p>施設の取り組み内容</p> <p>・市教委主催の保育研修だけでなく、県教委主催の保育研修や岐阜県保育研究協議会主催の研修に参加できるよう、情報提供を行っている。</p>	
<p>継続評価結果</p> <p>年度当初に主に県・市や保育等団体が主催する各種研修会への参加を中心に、職員の希望等も尊重して職務に必要な研修に参加できるよう「年間職員研修計画」を策定して実施しており、研修内容も多岐にわたるメニューが用意されている。</p>	
Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	
<p>前回評価結果：a</p> <p>今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で外部参加の研修が中断され、内部研修中心に取り組んでいる。平年ベースだと、施設内外を含め、職員に対して多様な研修機会（加盟団体主催、市主催、公開保育等）を確保している。</p>	
<p>施設の取り組み内容</p> <p>・市教委主催の保育研修だけでなく、県教委主催の保育研修や岐阜県保育研究協議会主催の研修に参加できるよう、情報提供を行っている。</p>	
<p>継続評価結果</p> <p>ここ数年は従前の集合参加型のほか、「リモート研修」も取り入れるようになり、従来以上に職員の参加機会も増加しており、職員も歓迎している。なお、研修に参加した職員は職員会議等での報告や文書で閲覧するなど常に情報の共有に努めている。</p>	

Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献

	第三者評価結果
Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	
Ⅱ-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a
<p>前回評価結果：a</p> <p>教育・保育理念で「恵那の豊かな自然を生かし、地域に根差した教育・保育をめざす」ことを、運営規程では「地域の人材や社会資源の活用を図る」を明示している。地域との交流は、巡回図書を読み聞かせ、老人ホームからの来園・訪問、街でのお茶会等、地域との相互交流を年計画に位置づけ、地域の一員として役割を果たしている。</p>	

<p>施設の取り組み内容</p> <p>・大井まちづくり運営委員会の場で本園の様子を伝えるとともに、広報誌などに積極的に掲載していただくなど広報活動に努めている。大井太鼓振興会と関わり、太鼓を教えていただいたり、園児の踊りを披露したりして、交流を深める。また、そのことを足掛かりに、他の団体とも関わりをもつようにする。</p>	
<p>継続評価結果</p> <p>「教育及び保育の内容に関する全体的な計画」の中で地域の実態に対応した保育事業と行事への参加を掲げ、地元自治会の団体が主催する太鼓祭では年長児クラスを中心に園児の踊りの披露や高齢者福祉施設を訪問して利用者との交流を図っている。今年度からは新たに自治会が毎月発行する「自治会報」に園の行事等の紹介記事が掲載されるなど、地域の人々に身近で親しまれる施設づくりに取り組んでいる。</p>	
<p>Ⅱ-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。</p>	<p>a</p>
<p>前回評価結果：a</p> <p>ボランティア等の受け入れは、「ボランティア・職場体験の受け入れにあたって」の実施要項を策定し、目的・意義等の受け入れ姿勢を明確にしている。ボランティアによる園庭の草取り・芋の苗植えや中学生の職場体験は、事前説明や準備、職員への周知等の受け入れ体制を整備している。</p>	
<p>施設の取り組み内容</p> <p>・今夏、延べ32名の中学生のボランティアを受け入れる。中学校の進路指導主事と連携しながら、生徒の活動をのちの進路指導に生かすように情報を共有していく。</p>	
<p>継続評価結果</p> <p>「ボランティア・職場体験の受け入れにあたって」の実施要項で市社会福祉協議会が主催する中学生を主体に職場体験を兼ねたボランティア活動を毎年夏休みの時期に1日数名に分けて期間中約30名を受け入れて実施している。園児との交流を中心にお兄さん、お姉さんとして遊びをリードするなど、園児との交流を深めると共に生徒達の将来の就労機会の貴重な体験の一つとなっており、今後も継続的な取組が期待される。</p>	
<p>Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。</p>	
<p>Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。</p>	<p>b</p>
<p>前回評価結果：b</p> <p>コロナ禍にあって、地域との交流等の取り組みはブレーキがかかっているが、隣接する小学校との交流や三世代交流等について、近い将来の取り組みを検討しており、今後に期待する。</p>	
<p>施設の取り組み内容</p> <p>・大井まちづくり運営委員会の場で本園の様子を伝えるとともに、広報誌などに積極的に掲載していただくなど広報活動に努めている。大井太鼓振興会と関わり、太鼓を教えていただいたり、園児の踊りを披露したりして、交流を深める。また、そのことを足掛かりに、他の団体とも関わりをもつようにする。</p>	

継続評価結果

園は「災害（地震）時における避難場所」に指定されており、地域の緊急時に備え、園として対応すべく基本的な事項について、公益的な活動の一つに位置付け、例えば、定期的に行われる園内避難訓練等の機会を活用して職員学習会を開催して指定避難場所としての対応ポイントを園全体で確認するなどの取り組みを期待する。

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施**Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス**

	第三者評価結果
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。	
Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a
<p>前回評価結果： a</p> <p>市が主導する保護者の園評価と自由意見の募りは、評価結果のもと次年度の園経営や保育の質の向上に結び付けている。行事後の保護者アンケートや保護者との懇談、送迎時の意見等は、役割分担のもと全体会議で検討・改善に取り組んでいる。</p>	
<p>施設の取り組み内容</p> <p>・ 2年間ほどできなかった「園外保育」を計画的に実施できている。また、プール遊びも2年ぶりに開催している。英語遊びは「ABCつうしん」を、読書活動は「えほんのおか」を発行し、保護者に定期的に園活動の情報を提供している。</p>	
<p>継続評価結果</p> <p>保護者による「園評価」を市の企画のもと、毎年市内全園で実施している。園でも自由意見を含む評価結果は利用者の意見、要望等と受け止め運営全般の基礎資料の一つに位置づけて事業計画の策定等に活用している。また、運動会や生活発表会など主要な行事の後には必ず保護者アンケートを行い保護者の意向等を把握しながら内容の充実に努めている。その他保護者会活動との連携を確保するなど、利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備して取り組んでいる。</p>	
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。	
Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a
<p>前回評価結果： a</p> <p>危機管理は、市の「安全・危機管理及び保健や健康等に関するマニュアル」及び園が定める「非常災害対策計画」のもと、園児や職員の安全確保、被害の予防や軽減等の対応及び職員体制を整備している。日常保育での事故・ヒヤリハット報告の情報収集は、発生要因の分析や再発防止策に繋げている。加えて、担当者を定め設備や備品類の安全点検を定期的に行っている。</p>	

施設の取り組み内容
 ・他園で発生した事故の顛末を紹介し、そこから本園ではどんなことに気を付けて事故を防ぐようにするかを共通に理解するようにする。（職員会の場等で）

継続評価結果
 リスク対応等について、市が「安全・危機管理及び保健や健康等に関するマニュアル」を定め市内全園で統一的に取り組んでいる。また、園児の園内における怪我等が発生した場合には、ヒヤリハット報告を記録し個々の対応等について情報を共有して発生の未然防止等に活用している。なお、職員には「ひと手間を惜しまない」を安心・安全な福祉サービス提供の基本スタンスとすべく職場内の意思統一を図るなど、リスクマネジメント体制の構築に努めている。

Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a
--	---

前回評価結果：a
 感染症の対応は、「感染症マニュアル」、「インフルエンザ対応マニュアル」を作成し、予防策や発生時等の安全確保に取り組んでいる。また、季節的な感染症の発生予防策は、園だよりで保護者に周知している。新型コロナウイルス対策は、「感染症対応マニュアル（新型コロナ）」により防止策を徹底し、関係機関との連携体制を確立している。

施設の取り組み内容
 ・4月下旬に新型コロナウイルス感染が園内で拡大した際に、保護者への迅速な情報発信と園内での感染拡大を防止するよう職員への徹底事項を再度確認した。常に市教育委員会と指定管理の荻須学園、そして保護者会会長と情報を共有しながら、全保護者への対応策を講じてきた。

継続評価結果
 感染症の対応は、市共通の「感染症マニュアル」、「インフルエンザ対応マニュアル」により予防策や発生時等の安全確保に取り組んでいる。また、新型コロナウイルス対策は、「感染症対応マニュアル（新型コロナ）」により防止策を徹底すると共に保護者や関係機関との連携体制を確立するなど、子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。

評価対象Ⅳ 保育内容

Ⅳ-2 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開

	第三者評価結果
Ⅳ-2-(1) 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a

前回評価結果：a
 園舎の老朽化を意識し、計画的に補強・改修に取り組んでいる。例えばトイレや手洗い場の改修を行い、子ども背丈に合わせた大きさ、高さ、安全面や衛生面に配慮している。軽微な事故も含めて事故報告書を作成し、再発防止策を検討し、実施している。一方で、園舎内で多目的に使える部屋の必要性を感じているようなので、園舎の老朽化に伴う補強・改修等の計画に含めることが望ましい。

<p>施設の取り組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルス感染予防に気をつけながら、子どもが快適に過ごせるように保育者同士をもつ。 	
<p>継続評価結果</p> <p>園内は、手洗い場やトイレ等、必要な改修が行われ、子どもたちが心地よく生活できるよう、明るく清潔に保たれている。コロナ禍、延長保育では子どもたちはそれぞれのクラスの部屋で保育を受け待機させるなど、感染防止対策にも率先して取り組んでいる。</p>	
<p>IV-2-(3) 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。</p>	a
<p>前回評価結果： a</p> <p>園児の個別記録票に基づきながら、基本的な生活習慣に関する援助を行っている。特に、園児が自分でやろうとする気持ちを大切に援助を行っている。</p>	
<p>施設の取り組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの苦手なことを知りスモールステップを重ねていく。 ・やろうとしたことやできた事を十分認め、次につながるようにする。 ・園や家庭での様子を伝えあい子どもの様子を共有していく。 	
<p>継続評価結果</p> <p>毎月の活動に目標を定め、基本的な生活習慣が身に付くよう項目を決めて、援助している。一人ひとりの苦手なことを知りスモールステップを重ねていく保育が実践されている。</p>	
<p>IV-2-(4) 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。</p>	a
<p>前回評価結果： a</p> <p>園内や園庭の遊具は充実しており定期的に整備されている。園児の自由な活動や遊びを大切にしており、保育者自身も園児と交わりながら援助している。</p>	
<p>施設の取り組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年長児が大井太鼓振興会との交流。 ・のれん作り。 	
<p>継続評価結果</p> <p>年長児が大井太鼓振興会との交流や中山道のれんコンテストに参加するなど、地域のイベントにも積極的に参加し、社会体験の機会がえられるよう機会を設けている。園児の自由な活動や遊びを大切にしており、保育者自身も園児と交わりながら援助している。</p>	
<p>IV-2-(6) 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	a

<p>前回評価結果： a</p> <p>異年齢で関われるような遊びを設定したり、安心して自発的に遊べる空間を設定する等、様々な工夫をしながら保育に取り組んでいる。</p>	
<p>施設の取り組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 戸外遊びで以上児が遊んでいる様子を見たり、知らせたりして子どもたちが意識できるようにする。 ・ リズムの時間を決めて同じ活動をしている。 	
<p>継続評価結果</p> <p>未満児クラスの子どもたちに、以上児の戸外遊びを意識的に見せ、またリズムの時間を決めて同じ活動をし、やってみたい、真似してみたいと憧れる気持ちが持てるよう、保育内容を工夫しながら実践している。</p>	
IV-2-(7) 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
<p>前回評価結果： a</p> <p>園の研究テーマ「運動あそび」を重点に置き、園児の心と身体を育てる取組を行っている。</p>	
<p>施設の取り組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 月案や週案を計画するときに学年で話し合い子どもの発達に合った遊びの提案をしていく。 ・ 担任だけでなく学年の保育教諭とも連携し子どもと関わりを持つ。 	
<p>継続評価結果</p> <p>「心と体が健康で意欲的にたくましく生活できる子」～人とのつながりの中で～を実践記録の研究テーマに、各クラスで実践と研究に取り組んでいる。</p>	

IV-3 健康管理

	第三者評価結果
IV-3-(2) 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a
<p>前回評価結果： a</p> <p>園児には健康や歯科に関する内容について紙芝居等を通して理解できるように工夫している。保護者には結果を伝えるだけでなく、その後の経過についても把握するようにしている。</p>	
<p>施設の取り組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 健診結果を伝える事で健康状態や発育や発達を知り健康保持に努めるようにする。 ・ 歯や口腔の健康は幼いころから習慣となるように保護者や園児の興味や関心が持てるよう援助していく。 	
<p>継続評価結果</p> <p>健康診断・歯科健診の結果は、保護者に個別に伝え、家庭とのやりとりや経過を把握するようにしている。保護者と園が連携し、子どもたちの健康保持に努めている。</p>	

IV-4 食事

	第三者評価結果
IV-4-(1) 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a
<p>前回評価結果： a</p> <p>園児が育てた野菜の収穫体験や調理等を通して、園児の食に対する関心を高める取組をしている。</p>	
<p>施設の取り組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収穫した野菜でどんな料理を食べたいか話しあい、食べてみたい野菜を育てる。 ・食べる事を無理強いせず自分で調整した量を食べ切れるようにする。 	
<p>継続評価結果</p> <p>さつまいも・たまねぎ・すいか等、どんな野菜が食べたいか話し合い、子どもが楽しみながら野菜作りに取り組んでいる。食べる事を無理強いせず、自分で調整した量を食べ切れるように工夫している。職員会議には調理員も出席し、一緒に給食の検討を行っている。</p>	

評価対象V 子育て支援

V-2 保護者等の支援

	第三者評価結果
V-2-(1) 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a
<p>前回評価結果： a</p> <p>保護者からの相談や要望等については、相談や要望を受け付けた職員が、園長や副園長等と相談できるような体制がある。</p>	
<p>施設の取り組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大型モニターやクラス通信等のおたよりを通して、子どもの様子を見える化し対話を増やすようにした。 	
<p>継続評価結果</p> <p>大型モニターやクラス通信等のおたよりを通して、子どもの様子を見える化し対話を増やすようにしている。保護者からの相談には、園長・副園長・担任等、複数で相談にあたっており、記録も残している。園として、特別支援コーディネーターを配置し、相談にあっている。</p>	
V-2-(2) 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a
<p>前回評価結果： a</p> <p>虐待等権利侵害を発見した場合の対応マニュアルの作成や共通理解、虐待等権利侵害に関わる研修の受講等に取り組んでいる。</p>	
<p>施設の取り組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援課と連携をとっている。 ・朝の視診をしっかりと行う。 	

・子どもの表情や遊べない様子が見られる等気になることがあれば園での子どもの様子を伝え家庭での様子を聞くようにする。

継続評価結果

虐待に関する研修会に参加し、研修資料を職員間で回覧し、職員会議でも内容を発表している。朝の視診をしっかり行い、子どもの表情や遊べない様子が見られる等、気になることがあれば、園での子どもの様子を伝え、家庭での様子を聞くように努めている。

評価対象Ⅶ 個別サービス評価基準（岐阜独自基準）

Ⅶ-2 保護者とのコミュニケーション

	第三者評価結果
Ⅶ-2-(2) 保護者会組織等への活動の援助や意見交換を行っている。	a
<p>前回評価結果：a</p> <p>規約に基づいて、定期的に役員会を行っている。園長や副園長が出席して意見交換を行っている。</p>	
<p>施設の取り組み内容</p> <p>・コロナ禍でも行事を減らさず、どんなやり方なら実現できるのか、コロナ禍でもできることを保護者会と一緒に考えていく。</p>	
<p>継続評価結果</p> <p>コロナ禍で、各種行事の実施が難しいこともあったが、どんな方法なら実施できるのかを、保護者会には絶えず意見を聞くようにし、保護者会と一緒に検討し、実施に結び付けている。</p>	